

施設整備計画

都道府県名	茨城県
市町村名	日立市

- 1 計画名称 日立市公立学校等施設整備計画
- 2 計画作成主体 日立市
- 3 計画期間 平成 18 年度 ～ 平成 20 年度

4 域内の公立の義務教育諸学校等施設の整備状況について

①保有校数及び耐震化の状況等(H18 .4.1現在)

保有校等	域内全棟数(a)	(a)のうちS56年以前に建設された棟 (b)		耐震診断実施率	うち耐震性のある棟	うち耐震性の無い棟
小学校	26 校	108 棟	101 棟	35.6 %	5 棟	31 棟
中学校	15 校	64 棟	44 棟	18.2 %	0 棟	8 棟
高等学校	- 校	- 棟	- 棟	- %	- 棟	- 棟
特殊教育諸学校	1 校	5 棟	4 棟	25.0 %	0 棟	1 棟
幼稚園	16 校	14 棟	13 棟	0 %	0 棟	0 棟
学校給食施設						
単独校調理場	- 箇所					
共同調理場	4 箇所					
スポーツ施設						
学校水泳プール	38 箇所					
学校武道場	7 箇所					
社会体育施設	10 箇所					

②その他、特記すべき状況・課題

旧耐震基準で設計された校舎や屋内運動場が8割以上を占め、耐震化率が低いのが現状である。昨年度、屋内運動場の耐震化優先度調査が完了したので、早急に対象となるすべての校舎の耐震化優先度調査を実施したい。その結果に応じて、順次、耐震診断または耐力度調査を実施し、耐震化工事に着手し、計画期間内にできるだけ多くの施設の耐震化を図りたい。現在の財政状況を考えると年に数校、改築を中心とした整備をしていくのは困難と思われるので、耐震補強中心の整備にしていくことも考えていかなければならない。学校給食共同調理場については、市内に4施設あるが、そのうち2施設が経年劣化により老朽化が著しいこと、併せてウェットシステムであることからドライシステムの調理場に改築する必要がある。

5 公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する目標について

①耐震性の確保を図る整備

屋内運動場については平成17年度に耐震化優先度調査が完了したので、平成19年度に5校の耐震診断、補強設計、1校の耐力度調査、実施設計をし、その結果により、平成20年度に耐震補強工事、改築工事を施工する。また校舎に関しては平成18年度～平成19年度に坂本小学校の校舎改築3棟、耐震補強3棟を実施する。

(目標耐震化率の設定)

学校区分	計画期間中に耐震化を図る棟数		耐震化事業実施による耐震化率の目標(%)	
	うち補強	うち改築	(現状)	(目標)
小学校	10棟	7棟	11.1	→ 20.4
中学校	2棟	1棟	31.3	→ 34.4
高等学校	棟	棟		→
特殊教育諸学校	棟	棟		→
幼稚園	棟	棟		→

②防犯対策など安全性の確保を図る整備

今年度実施した学校施設等における吹き付けアスベスト等使用実態調査(補足調査)でアスベストの使用が明らかになった滑川中学校の吹き付けヒル石の除去工事を実施することにより、本市の学校すべてのアスベスト対策工事が完了する。

③教育環境の質的な向上を図る整備

経年劣化により老朽化が著しいことから、大規模改造工事により、学校施設の延命化を図り、地域社会との連携を考慮する施設、児童・生徒の生活の場としてふさわしい環境、情報化社会、地球環境を考慮した施設を整備する。

④施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

学校給食共同調理場の改築にあたっては、老朽化した2施設を統合し、ドライシステムを採用した新調理場の移転改築を行う。従来、2施設で行ってきた21校分の調理が賅える施設整備を行う。

6 5の目標を達成するために必要な整備事業について

※(様式2、3)省略

7 5の目標に対して行う事後評価について

5の目標に対してどれだけの整備ができたかを評価し、日立市教育委員会ホームページで公表する。